特別
は
2
57

改訂
第
卅二
冊
二本

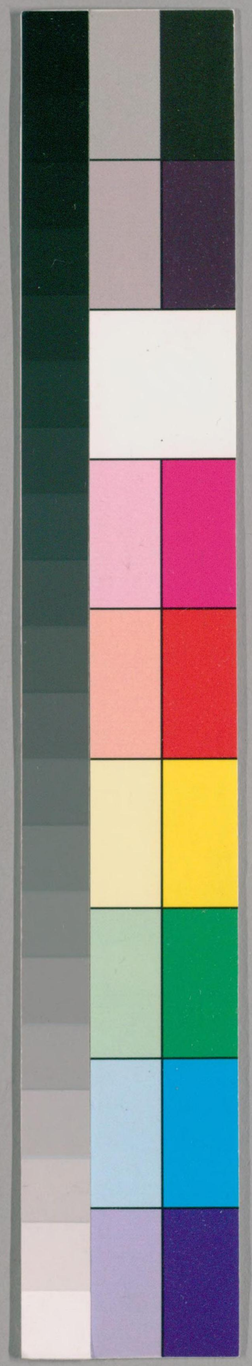
東四十

東京圖書館
類
屬
函
ヒ
架
3
号
25
冊
2

續羣書類從

催馬樂注秘抄

東四十



国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57

ガラス使用

No.6588

東京圖書館藏

帝國學士院之印

明治二十二年購求

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』 請求記号 は-57

ガラス使用

催馬楽注秘抄

律

我駒

住てすむこゑのよさやくゆきこせまうちあれまうちまれ

二形

はたらくしまつる人ゝゆきそいつれ

己妻淀を楽いもしてしは法師の出つゝ花を大蔵

前へおさめ時ゝ民のはうまうみようひろう

あれなさいそとまうくとまうくとまうく

我朝のうた万葉集十二
ゆきこせまつちやまつちやまつちやまつ
こんこんこんこんこんこんこんこんこんこん
さてさてさてさてさてさてさてさてさてさて
こんこまつちやまつちやまつちやまつ
あさやまこえてきみがくるらん
二段
さうらうてさうらうやさうらうやさうらう
あさんれとくふれさんやたうらうやたうらう
三段
あいれさうやあさうやあさうやさうらう
夏来ればさうらうやさうらうやさうらう
さうらうやさうらうやさうらうやさうらう
やうふこそよけれさうらうやさうらう
さうらうやさうらうやさうらうやさうらう
あれたうとわらひとうらやあそこ
やうふこそこのあそこやあそこ

嗚呼さわぐらん須く
そ物
我汝をサイサコハなタチとトさんくサイハ
たりさこのさいさこのみすらい
二段
尾とよみてほまてむやる
三段
我汝ここにもやとハこコトノ心トカや
うまとかとさむはうそもかとまりもと
四段 我汝ニよりラサミノハメノ考ラくミソカヤハサホ
ミソトハカソキルモノ
物りとさくおのごろうけ
五段 旦汝ニナミヒカモトハナニソトさんく
なみうさむあふまて
六段
ちろをまくいんゆうさるのさゆう花の
七段
ひさこひさう花あまて
五あまるかうさ山のくさこいちさ花いさ
こさうかうさめそれも
二段の白桂ぺ三段のうれも
かとそんうれとう須くまもとそ
くそん須の物うをみお

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57
ガラス使用

あととゝへしみそうみけいあとう
あ旅のあるいとさんいあるいそ
ろうしゆうとろうとよ
しさ旅のこさまるいくんとう
あにうこしゆうんとあ旅の
ゆり花い百合花くさゆう
旅い其の心寓あ
まゝ

其ノ一

えゝのさこ来おくうあうう
(ウ2)
取扱ニミメハニコトノツニヘ
まゝめさあまつよ

二旅

かるるあかれいつをとれかまま
めれとく扱ときとうとうとう
めひこさあうゝ

是あまえる川いるまのあく
やさ衣いちいさ比衣くまり
ハ年まよ新よといつこ二旅
をしくうあをう向とうれ
おとれいうとうとれ頭
ありまり海とあさきあい
森の衣たのとく

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57

ガラス使用

きそくに従ふとくきそくに夜ふけ
てなれやとふるあれとふくあひるさこも
いたらひよ射てお頭とさ
あれよといってくなまあのくらく夜着とぬうん
まおおつうものとろとろく

妻川

妻川のせせらぎたまうたまって
おいるくておやさうつま

二段 或説云ここに手ルハヲリたんトこゐく

おやさうまつまいまってるいもも

三段

くうくうちゃいのうふくうひかうむ

やさんのいうふくうひかうむ

とうさてさやちうさん

見あまま妻川二おうさ美濃国より伊豆妻川

とさおあり伊豆を略してくうい

くうい須恵をとうとうみあれ

あれ庵ううかあ歌いるとと物よまさてり

おやさうさ父母としてあ

二段のおやさうまいまの

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57

ガラス使用

あつま屋のまやのあまりのあまりそのとひ

二段

かとうひとさとうひとさとうひとさ

ゑ（これ）ゝいかのさ
しとりひろひ〇さ
妻いかの自稱する

老井

はゝ井のこうやかりおさ
ほくせていとひきあさ
夏衆老井いお坂よ
小萱（蓑）ありまもいうこ
あひう井よやとりいまへ

兎ゑ井

ひさもゝ見まくさ（ゑ）
夏衆あとう井いた
文東京の二条二万石小
ホありそよ細末詳
添りきさみ（まく）もいい
ふ草あり

ゑ柳

あをやまとかる条にうてい
二股
うくひとれあとうやきい

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57

ガラス使用

[illegible]
[illegible]
[illegible]

みうめのこころのあやな

三段

みうめやのやこころのこのあやめこそ
ニホトタスメハヤムスメメ
なむもろめどいくとをもむすめとし

ゑあふうつさとわしいあれさ

二いろあるとゑれをもとる

あさふスなつじあれるみろ

ところしこころみの六帝園せ

私のなくた大つやう私のつ

てあるとく職名今よスしう

我門をさもむかうさん祢つと

やうこころうや

二段

ようさうとさんかうさん祢ろ

らやようこうさうしや

ゑ栗とさんかうさんとさ

つをさむとろやうとあて

その二緑男とれせと大夫殿

おその奥ぢの陣綾のまくと
よ（飛ぶなるさゆうすいくい）河とこさうとしいまつくさうく

大絃

おそちようひてのおろいあとやはらのいあや
やきうとくるや

二絃

も物うきものとこれいとまいさうやうや
夏あまひてのおろいかくまるひ物のまれるく
くきこんほもおうし芭蕉とまも

とうう

大芹

おせりいくさうれさうぬこせうぞそゆてぐむまし。
これやこれをんさんさむたのまれゆーのさんん
むしあれごうさいくのさいひやうさとさいふやう
めんひおうけうきうとをあとんきみ六
へしの一六のさいやこさ
夏菓園のさあいい法園の貢獻のあるとこそ
芹うと新芹とさとあるとゆてくいい芹
を英さむまいい味の春とをんさんた

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57

ガラス使用

[illegible]

刺掃

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
心なくらん（有るの誤イ）ぬしやひとりもいまさぬ
いまをりもろもろ女ども
ちてやねんとろくん

道行

[illegible]
[illegible]（イ）ちろあしの汀やさきんちや
[illegible]（ロイ）のくのみしてあうと
おやにつけよんあひ（ニイ）の汀とそうとまる
うろくちをかをちを神お田をそくあひ

の汀やさんや

更衣　或説云逢ふく彩注ニそとやとハ海トちゐく
万葉ニ云ノ中ノおかきまくニやカテ〳〵ニ仰ニ
ナカスニやカハトニ似テ　ナカストヨリハ云ハカルニやハ海ト
云同し

ようそうくちんやさ逢やまきあいみよ京の京
よそのの花ともやさきんたちや
[illegible]
[illegible]
[illegible]

何ぬ

いてせんもやそみてそ
とさいあとようさきんちや

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57
ガラス使用

[illegible]

鶏鳴

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二段

三段

ひきてうたれとうのもとに宮
ゐてい給まゐりてうたへきく
新年
あたらしき年のとくめやうや
二段
かくしてつゐまつりやう
三段
いつまでかやまの代まで
君あおひうたふ今集
あたらしき年のとくめ
せをうのてだのしきそうめ
ようへまつりめよ御代おほ
催馬楽いわ申ぢりつ
梅枝
梅ちえまのそうひとやま
二段
まちけてあけとまいまる宮
三段
あまれてうやう宮いわりて
君ぬ申ふ今集まる部こまう

桜人　或説ニワタハ後陣田ノ下ニテツクル小町ワリトイフ

桜人そのおもかげ（おもて）をうつしてつくるこゝちやそのさまうつくしやうつくしや

二段

よしやそのおもかげいつまでもうつくしからせのこれあひてそのこゝろやうつくしやさまもうつくしやうつくしや

思ふ男桜人に我人をとられてしまひうらめしやうらめしやとのゝしるこゝろねたましや甚毎（はなはだごと）

よしやそのおもかげいつまでもうつくしからせのこれあひてそのこゝろやうつくしやさまもうつくしやうつくしや

思ふ男桜人に我人をとられてしまひうらめしやうらめしやとのゝしるこゝろねたましや甚毎（はなはだごと）

そてうちふりこんろんをとりてうたふこゝろやさまもうつくしやうつくしや

やいとうのかうくさすりてつくるこゝろやさまもうつくしやうつくしや

こんとろくろくこゝろあにうてつくるこゝろやさまもうつくしやうつくしや

ふたこゝろともあひてつくるこゝろやさまもうつくしやうつくしや

よはいつるとをちうくをもちうくつまるをとるこゝろやさまもうつくしやうつくしや

ほそうすうすりてつくるこゝろやさまもうつくしやうつくしや

平（ひら）ひろうてつくるこゝろやさまもうつくしやうつくしや

とをとをあひてつくるこゝろやさまもうつくしやうつくしや

かうみてくやゆうくと

芦垣

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57

ガラス使用

[illegible]婦の陳しうる詞
つゝの神うら沈みあん
ろの神うら沈みあそこやうの
しうとと云しうとまでも
いうゝとさすとう詞く
きうゝ空ありれとうれ
きくうえて婦の空のひつゝ
股うらうら心え

山城

やまうの海のうのうの
あやさうなやうつくう
しあやさうなやうつくう
ゝ

二段

うほうれをかとふ
しあやさうなやうつくう
ゝ

三段

いこせんありやまれまうう
あやさうなやうつくう
ゝ
是奈山城物と云ふ
う女とうあやうう
いうれうゝれをかう
ゝ
ありやさうなやうつくう
ゝ

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57

ガラス使用

真金吹

紀伊國

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57

ガラス使用

こそでよそれうれうなうんてひ
百番まてくのよなにおのくせと紀伊
よのさうひてそやあ国のくまくの(紀イ)
まてらくいまてくにまてくたまて
いもをりらまれと路くの
此の路のお答くおこうい
と回ふうこきうていさ
うまうんく

葛城

うてそれものまうやさうくぬもの(ぽイ)や
うてそれものまうやさうくぬもの(ぽイ)や

二段

此の菜井よまてくむまてくやまうくぬ
てうんとごくかんと

三段

まてていくそそさうんやま
はうのくまてむまてくぬ
まてまてくひてうむてくそ
百番さうくいもうてくそ
うの南一まてく花のうてくて

ガラス使用

もとこゝに（ウセ）回ふとをしてとゝまる
三條よいもとそとクをんやいわ我や（ヲイ）
そ宮をんとゝろんし（ヲイ）

竹川

竹川のそゝみたゝめやうやう
ろみよゝれ

二段

そゝろみよれをはそゝろ
みをうゝみそゝく
ゑ春ろ川のそゝみ
我をそゆをめそゝろ
いの川回ゝあろそゆをと
回そめそゝそゝてゝ

何ゝ

川のせそゝみあゝろやせそゝみ

二段

まゝれそゝわれ（ウセ）ねやゝそゝ
ゑ春ろのせゝいゝものあ
をゝのあゝろゝまゝれ
そゝのひゝゝそゝろ

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57
ガラス使用

あ〻うれいくれやきるの
やとおるのしくおふ
けあえ
こえのいむしもくさくさ
二段
さえくさえくさくさくさくさるふ
けくうもりヤー
ゐあえさえのいむへくさ
ようふえつくうもりの
ゐえのいく舛(升)すへ(入)り(れ)
ゐえのいく舛(升)すへ(入)り(れ)と読む
田没(ぼつ)梅をいうとうう
たうるるまさせうる
こ梢(こずえ)とりさそこ
こへ(ヘイ)一段ゐうくまく
こ梨やゐ(ヰ)前むするも
あえとこむのくむ
けあ面
けよのいのう(ヰの)ひるひ
二段
まるすゆえくさくさ

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』 請求記号 は-57

ガラス使用

二段

さらくとまりぬるものいさてや
やうやうのよまてくるや
ゑこあまみまさきやくあれさ
あいさてく一方代まてよけうち今作まこの今
のおれ御所のみまさきみ
苅さき
あらものぐらかうくしきあくやしまや
きあくやしなくや
二段

きあくやしいつさいくきあくやし
よやすもあくるものや
ゑこあまみまさきのくうくしきあくやし
いはくいひしく吹くあくるものとつまつ
姫のおしくの国くありきあくやし
てまをくやすくいうくばなくやし
とつるくや苅さきみさよ苅さきみさよ
妹ら我
いもと我とつるさんのやまあくや
うやうやまさきらんやとくぶ

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57
ガラス使用

のはぎ　おばな　女郎花　藤袴
きゝやうの　みち　蘭を
とり　つゞけて　もう　海士
浅緑
あさみどり　やこいなるべし　めうは
あまひろまでひろまでんきやうずまでひろまで
つゞけ　風の　まくら　いつたん　井
こゝろ　かしこ　うやうに
三番　浅　とりやうの
濃茶　四季　こゝろ　いろ　柳の　ろを　いうんてく
いつも　ひろまでひろまで　柳の　ろを
きやう　いう　記　あさすさ　きやう　いう　朱雀　つゞ　城の　年
安城を　いつう　やう　いう　家の　ろを　招
をおて　めう　ぬて　文　招み　の　おを　こう　や　お　許
せんさい　ぬ　ほ　ひ　いう　あひく

もう

あさの　まだ　あれて　とう　つあけ　いう
つあけ　あひ　やの　まだ　いう　やの　まだ　せ　こう　ひ　こ　まあ　ぎ
いう　んこ　まで　ろ　むこ　の　さ　い　こ　の　ろ　ふ　の　さ　せ　こ　か

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57
ガラス使用

ひこまさいろむこ

[illegible]あをのていまそけのさ

こ[illegible]あとをきこそぼりとれいさ

へしさどこ(セイ)ハ人のみそひこいさ

ぱ(半濁子)ぱのみそくいこれもう

や大ちう才はあるとこんこ

つみけとろよつまて幸まひとを

妹こ門

いまうかとやせのうりそひらのてや

うさのむらうきれあをりやみうを

あま屋とうがさやとう屋とうて

たとさ

[illegible]妻妹こ門ふのつくせあ

ちうさ面ふりうこうあのうさうあくを

して神とおりく面ありまて

のみこかまやとうくきひ面やくこうこ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

苔うこむしてうろうろ
きあくその日のため
夏あまりけふこさ
のうちこあいまの
りとまひきいまの
芭蕉
みの山よりふりひう
つまあったのやう
夏あみのこまに
のまあうみ
青倉の悠紀の
くおひてとそ
眉山之女
ひまくさとうまも
とあまもとめまも
まものまとめまと
夏あまもとのいか
酒飲
さけたうへてうへう
まそろよりひてま

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』 請求記号 は-57

ガラス使用

ふるうやらんをうちうち
是奏酒をすゝめていはく
そゝめてはのきうてくれ
酔くこうるようなりひ
ようひたまてとするく
つゝはれをきゝ
田中井戸
田中のとよひうたるれ
めうをうたるこあこめ
是奏田中の井戸は何を
とうたんとて井
とあるをきゝてくれ
そくうのおれうを
たるきは何よあるきと
けこあいやしきあれ
はうのれをやし
主力蹴
ちうちうちうちうちうの
みをく
是奏墓は日るくみとうは
蛙判をはうとうとうあ

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57
ガラス使用

いろや
鞨鼓海
あんとおうこんとおんとのうこ
おりつつくしまてよ
やまさえまつくし
夏来るおわくしむしくしは
ゆてあこれ花のあとは
吸ってなおとつとは
言よあうううくは
のはくはるやまさ
あしそくこつ舟はとうこ
ふるう川あうせ舞はこ
や叶しあくや叶しあつる
夏来ひとのすう川
めつるとまるくや叶しあつる
御小袖のうるくとう
二段
之川
しうんのこゆうふうとこ

いうまでもうらんあひそのあらそ

三段

うらうやうらうあうそうそうそう

夏あまの川にあのうそうそうそう

のかりとまあありてまたく

そう猿楽人そうそうひひ

前田の宮の中に猿そう

そうや三段のうやあう風

まうそうそう一年に二まい

奥山

おくやまさうやおらぎさう

そもそもつよもそうおうち

夏あおくやまきくいま我御前文とそう

きそうやいもんつろいまも

きいまなう

奥山

奥山ときあうひさうきうあ

うやいもんはうまうやいうん

夏あまおあうひいまを知て門をうそう

まひあうそうそうとうそう

さるき人のゝ（ママ）ようやたゞ略之の字と同し

我家

ゐいろんのようちやうとおきまさきまゝ
きまをむこゝをせんこゝもうさうさ
さゝとのかせゝもんあうひさうとうのをゝもん
ゐ要ゐいろんさうとうい慢ちやうい慢さよ
ゝきこゆうさとうい慢ちやうい慢さよ
慢をゐ利とうとうよきまさきい人を
ようひてうむこいろんい会年くれいろれい市者
あうつるいうまゝへこさとゝひてそろくさそ
ゐうさとゝあゝひさうをゐうかせゝとうてこゐ貝
のゝようやさくいいさとゝ貝おうゝへし
近ゝゝ郎ゝ螺をさうゝへくいうとうさいの
事うゝへ

右倭楽の事曲ゐまのゐ楽のようをゐ
てゝさ物ゝよ調ゐ邦ゐまと同おゐまゐ事ゐ
うてゐいうくさうゝ進うこゝかくて

右催馬楽注秘伝借第の於中院黄門以写令也
写畢〻校合〻畢（ママ）〻（ママ）の御本也

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57

ガラス使用

康正元年九月晝　稽中納言有俊

件正中依應仁元年天下兵乱源置便宜家令
紛失年雖為遠恨之力沒年之間借請件
文明十年九月十二日

亮基法中門弟信敦重恵之
中令書写之則加校合年
東大近将源置判

以東将源置中令證求朝臣
二拍事之重以之出門弟
明應八年首月十七日　七十一老之翁

件注後成恩寺奥海作也

異本奥書云
西宮抄一私遊宴更
夫於律遊者用平調於呂遊者用
時用之但律呂遊以亮中樂
先帝(陸イ)遠同音類(救イ)慶次甲壱久留曽風俗等之
顕昭法師袖中抄云催馬樂之譜一条左大弁雅
信之時調子律呂ノうつり定うしてりとぞり
梁塵愚案抄畢

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号 は-57
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』請求記号 は-57
ガラス使用

は
2
57

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』 請求記号 は-57

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『催馬楽注秘抄』　請求記号　は-57

ガラス使用